

学び合いのススメ



か

An illustration of a young girl and a young boy. The girl on the left has dark hair and is wearing a dark jacket with a red bow tie. The boy on the right has dark hair and is wearing a dark jacket with a yellow button. They are both smiling and looking towards the viewer.

三加和中学校

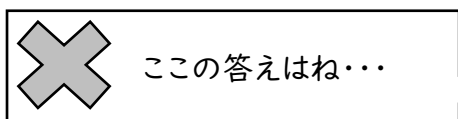
() 年 () 号 氏名 ()

はじめに

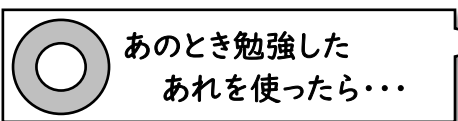
三加和中学校では、「みかわ」の学習に取り組んでいます。生徒の皆さんと先生たちとでイメージを共有して授業を一緒に作っていくためにこの『学び合いのススメ』を作成し、今年度改定しました。

「学び合い」を大切にして授業づくりを行います。全員が「教える側」「教わる側」になります。そのために、まずはその時間のめあて（課題）の達成に向けて自分自身がじっくりと考えて、「自分なりの」考えを持つことが大切です。そして、それをもとに友だちと学び合うことで、さらに自分の考えを深めたり、自分だけでは気づくことができないことに気づいたりすることができます。また、自分自身で学んだことを自分の言葉で他の人に伝える振り返りをするすることで、学びがさらに深まります。それぞれの授業のなかで「授業のどんな場面で」「どのような力を身に付けるために取り組むのか」「どのような場面でどのように（方法等）で学び合うのか」などについて確認をして、みんなで「わかる」を目指しましょう。

今年度、皆さんで「学び合い」のレベルを1つ上げましょう。具体的には、「どのように答えを教えずに、ヒント（考え方）を教えるか」ということにこだわって「教え合い」をすることと、自信を持って自分の考えを伝えることを大切にしてほしいと思っています。「わからないこと」を「わからない」と言うことができる雰囲気と、なんとかみんなで解決していこうとする雰囲気をみんなで作っていきましょう。



※答えを教えると、次につながらない。



※考え方を教えると、次に別の問題でも活用でできる。

※「どうヒントを出すか（教えるか）」にこだわることで自分の学びが深まる。



（学び合いのイメージ）

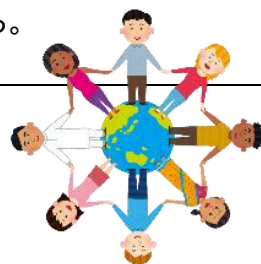
国 語

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○ 叙述に基づき明確な根拠を持って主張や主題を読みとる。 ○ 根拠に基づき、論理的に文章を構成する。 ○ 自分の言葉で考えを伝える。 ○ 正しい言葉遣いを身に付ける。	
学び合いの ねらい	○ 多面的な視点や考え方を共有し、思考の幅を広げる。 ○ 自他の考えについて客観的な視点を持てる。
学び合いの 方法	ペア、少人数で考えを伝え合う。 ① 自分の意見にないものなどを色分けして記録する。 ② 1つ質問をしてみる。 ※ 個人思考 → 出し合う → やり直し → 高める
学び合いの ルール	○ 他の人の考えを否定しない。 ○ 土台については授業開き等で共有する。



社 会

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○ 身近なところで起こっている社会事象もふまえ、言葉を選んで「ひと言まとめ」を書くことができる。 ○ イラストや図表、矢印や吹き出しなどを使って、自分の考えを表現することができる。	
学び合いの ねらい	① みんなが課題を達成できるように、互いに協力する。 ② いろいろな考え方にふれ、多様性に気付きそれを理解しようとする。 ③ 人に伝えようとすることで、自分の理解度を確認する。
学び合いの 方法	① 終わった人は、まだ終わっていない人や困っている人のところに行き、答えではなく考え方・書き方をアドバイスする。 ② グループ討議の中で、それぞれが自分なりの意見を出すことでお互いが考えを深めるようにする。 ③ グループ発表で、自分に足りないところを見つけるように努力する。
学び合いの ルール	① 1人学びをしっかりとる。(人まかせではなく自分の意見をもつ。) ② 誰と組んでも話せるように、日頃から誰とでも関わり、意見を言えるようにする。



数 学

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察することができる。 ○ 数学的な表現を用いて事象を簡潔、明瞭、的確に表現することができる。	
学び合いの ねらい	① 目的に応じて的確に数学的な表現を選択したり、一つの対象において幾つかの数学的な表現を相互に関連付けたりする。 ② 問題解決の過程を振り返りながら、表現を自立的、協働的に修正、改善したり、議論の前提を明確にしたりしながら、問題の特徴や本質を捉える。
学び合いの 方法	① 問題解決の方法を、まずは自分で事象を数学化したり、図や式、表などを用いて表現する。 ② グループ学習や全体学習を通して、多様な考え方や解き方を共有し、自分の考えをよりよい表現へ改善する。
学び合いの ルール	① 自力解決の時間で、自分の考えをしっかりともち、書く。 ② 互いの意見や考えを認め合う。 ③ 一人一人が互いに関心をもち、困っている人がいないか気配りする。



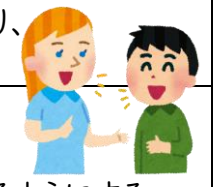
理 科

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○実験や観察を通して、目的や状況に応じて、科学的な視点で表現できる力を身に付ける。 ○日常生活と結びつけて表現できる。	
学び合いの ねらい	①みんなが課題を達成できるように、みんなで協力する。 ②いろいろな人と交流することで、他者の考えを知り、多面的に考える。 ③人に伝えることで自分の考えを整理する。
学び合いの 方法	①終わった人が困っている人のところに行き、考え方ややり方をアドバイス。 ②課題を考えるときには、意見を交流させて答えが同じでもいろいろな考え方があつてを学ぶ。 ③グループ発表をする。
学び合いの ルール	①1人学びをしっかりとする。(自分の意見をもつ) ②答えてではなく、考え方や、やり方を教えてもらう。



英 語

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○目的や場面、状況に応じて、相手のことに気を配りながら自分の意見や気持ちを伝えることができる。 ○相手にも伝わる表現を使って、どのように伝えるかを考えることができる。 ○相手の発言に様々な反応をしながらコミュニケーションを続けることができる。	
学び合いの ねらい	①みんなが課題を達成できるようにみんなで努力する。 ②友だちと活動することで、いろいろな人の表現を知ることができるようになる。
学び合いの 方法	自己表現活動や練習をする場面で、次のように学び合います。 ①表現や問題、練習をするときなど、自分の課題が終わった生徒は、途中で困っている人のところに行き、考え方や表現する方法やアイデアのアドバイスを行う。 ②ペアやグループで一緒に活動した後には、必ず自分の表現を振り返り、さらに良くできないかを考える。
学び合いの ルール	○仲の良い人のところだけでなく、クラス全体のことを考えて行動する。 ○「どのようにしたらわかるようになるか」を考えながら教える。 ○学び合いの後には、自分の言葉で説明できるようにして、誰かに伝えるようにする。



音 楽

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○音楽の良さや美しさを味わって聞くことができる。 ○音楽表現を形づくっている要素を知覚・感受し、その曲の良さを他者と共有・共感することができる。	
学び合いの ねらい	① 客観的に音楽をとらえ言葉で表現する。 ② 他者と自分の思いや考えを伝え合うことで、考えを深めるようにする。
学び合いの 方法	① 課題を確実に把握する。 ② 自分の考えを言葉で表現する。 ③ ペア・グループで伝え合う。 ④ 自分の表現を振り返る。
学び合いの ルール	① 一人で静かに思いを深める時間を十分確保する。 ② 自分と異なる考えの人の意見を知る。 ③ 幅広い考えに気づく。



美術

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
A 表現：発想、構想をアイデアスケッチや作品のみならず言葉として説明できるようになる。 B 鑑賞：感じたことや考えたことを言葉(文章)で整理し伝えることができるようになる。	
学び合いのねらい	○自分にはない発想など、お互いの考えを尊重することが大前提。 ○良い所は褒めあい、小さな自信につなげる。
学び合いの方法	構想及び制作途中段階で 班 / 発想、構想、技法を説明、構想の実現に向けて情報交換と教えあい 全体/タブレット配信機能にて制作進捗や工夫点等の共有
学び合いのルール	○お互いの考えや制作方法を尊重(褒め)し、更に工夫を加えるにはどうするかを共に考えていく。 ○他者のアイデアをそのまま活用せず、必ず自分なりの工夫を加える。



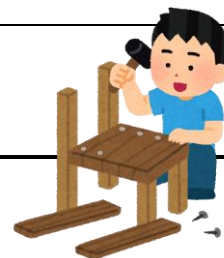
保健体育

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○課題や学びに応じて、自分なりの解決方法や技のポイント、アドバイスを言葉、文字、画像などを使って説明することができる。 ○感覚的なポイント説明は、とらえ方が人によって異なるので、いろいろな人のアドバイス方法や言葉遣いが必要。自分の感覚を表現することができる。	
学び合いのねらい	○課題解決のための方法を、個人・仲間で協力してみつけていく。 ○いつも同じ人がアドバイスをするのではなく、いつもアドバイスをされる側も、何かしらのアドバイスができるようにする。
学び合いの方法	個人で考え、深めることももちろん大切であるが、ペアやグループ(チーム)での活動で学び合うことで、より学びが深まり、自分では気づけないところにも気づくことができる。そのため、どの単元でもペアやグループなどでの活動を実施し、必ずアドバイスをし合って終わるようにする。
学び合いのルール	○日頃から誰とでも活動することができるような人間関係を作る。 ○グループ活動の際に友だちの意見やアドバイスは肯定的にとらえる。 ○押さえるべきポイントを示します。そのポイントに即して伝えるようにする。



技術・家庭

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○自分の考えや意見を伝えることができる。 ○自分の考えを図や形に表すことができる。 (製図、アクティビティ図、プログラム、ソフトウェアの活用、作品)	
学び合いのねらい	○自分の意見を整理して、深める。 ○わからないところを教え合う。(ヒントから考えを広げる) ○いろいろな人の意見をもとに新しい考えを持つ。
学び合いの方法	①理解できた生徒が、困っている生徒へ教える。 ②自分の考えや意見を持った状態から、グループでの意見の交流につなげる。
学び合いのルール	○必ず自分の考えを持つ。(わからない場合も含む) ○誰かに説明(伝える)ことができるようにする。 ○新しく考えたことをプラスする。



特別支援

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○日常的なあいさつ、返事、言葉づかいができる力。 ○自分の思いを自分なりの方法(口頭・筆記)で人に伝えることができる力。	
学び合いの ねらい	○指示されたことの内容を理解し、学習活動を行うことができる。 ○活動したことを自分の言葉で発表することで学習することで学習活動の理解を深める。
学び合いの 方法	○じっくりと1人学びをしたあと(させたあと)で、ヒントをもらい(あたえ)、考える。 ○互いの考えを発表する場所を設け、きちんと伝わったかを話し合う。
学び合いの ルール	○何について考えるのか(学ぶのか)を、その都度きちんと確認する。 ○最初から支援するのではなく、自分で考える場を確保する。



「みかわ」の学習

み

本時のめあて、取り組む課題(学習活動)解決するための見(み)通しを持つ

か

一人で考(かんが)えてみる、友だち同士で関(かか)わり合いながら、解決(かいけつ)を目指す

わ

まとめ、振り返りを行い、「わかる」を目指す。



- ① 今日学んだことやわかったこと
- ② 感じたことや考えたこと
- ③ 気になったこと、疑問に思ったこと
- ④ 友だちから学んだこと
- ⑤ これからやってみたいこと



振り返りの視点



令和7年度も各教科の授業で、単元を通した「学習課題」を出します。そして、その「学習課題」を達成するための授業を行い、その時間ごとの「めあて」を立てていきます。1時間1時間の授業を大切にして、その時間に学んだことをしっかりとまとめていきましょう(「まとめ」)。そして、単元の最後に取り組む活動に向けて、その時間に「何ができるようになったか」を自分のことばで整理する活動が「振り返り」です。単元を通して失敗を恐れず、力をつけていきましょう!

今日の勉強で〇〇ができるようになった!
友だちのあの意見が「なるほど」と思った!
〇〇の部分がよくわからないから、もっと知りたい。
あの場合はどうなるのか疑問に思った。



わからなかったことを先生や友だちと共有して、みんなで授業づくりをしましょう!

一心一意

～失敗を恐れず ベストを尽くせ～

学校生活でも、学習でも、お互いの意見を大切にしながら協力して頑張ることができる三加和中学校を目指しましょう!

道徳・特活

身に付けたい「主体性」「問題解決力」「表現力」	
○よりよく生きるために、自分自身を見つめ、クラスメイトの思いや考えに触れながら様々な立場や視点から考えて自分の生き方について考える。その過程で考えたことを伝える。 ○集団の1人として、よりよいクラス（学校）を作るためにどのような言動が必要かを考える。その過程で、自分の考えを伝え、相手の思いを大切にする。	
学び合いのねらい	○自分の考えを持ち、自分の気持ちを伝えること。 ○クラスメイトの考えを知ること、自分の考えをさらに深めるきっかけにする。
学び合いの方法	①自分の考えを持ち、まとめる。 ②自分の考えを友だちに伝える。 ③友だちの考えをしっかりと聞く。 ※ホワイトボード、ロイロノート、ワークシート
学び合いのルール	○できるだけ多くの人と話をする。 ○まだ考えている途中でも、その時点で自分の思っていることを伝える。



総合的な学習の時間（起業体験学習）

